

第1回県立総合医療センター機能強化基本構想検討委員会の概要

- 1 開催日時 令和4年5月31日（火） 10:30～12:00
- 2 場 所 山口県庁 共用第1会議室
- 3 出席者 委員 12名（うち、オンライン参加2名）、事務局12名
- 4 議 事

(1) 現状と課題等について

(2) 意見交換・質疑

【テーマ】 県立総合医療センターに求められる医療機能等について

委員からの主な意見

【全体関係】

- ・救急、周産期、感染症など県内全体をカバーする高度急性期・急性期の基幹病院として、人や医療設備の充実が重要であり、大学も連携して取り組みたい。
- ・今回をよい機会として、診療機能を見直し、強いところはさらに発展させ、弱いところはそれを充実させるように、人と物の充実を図っていただきたい。
- ・色々な分野において、引き続き、最高の機能、医療を提供していただきたい。
- ・ロボット手術支援機器の導入は、安全で低侵襲の医療を推進するために大変大事である。高度急性期医療を充実させるためには手術室の増室や、それに伴うICU（集中治療室）やHCU（準集中治療室）の増床も必要になる。

【5疾病関係（がん、脳卒中、心疾患、糖尿病、精神疾患）】

- ・山口県の年齢調整死亡率で、肺がんは最も高い割合を占めており、呼吸器分野は非常に重要であるため、医療提供体制等の充実を図っていただきたい。
- ・がん治療については、外科的な治療に加えて、現在、様々ながんの原因遺伝子、そしてそれをターゲットにした治療が可能となっており、がんゲノム医療や放射線治療の充実を図る必要がある。
- ・がん医療に関しては、いわゆる最先端の医療・治療も重要だが、全てのがんの患者さんが最先端の医療をとよりむしろ、患者さんの御家族も含めた緩和ケアの重要度が非常に高いという患者さんも多くおられるため、緩和ケアに係る専門的な病棟や専門スタッフの育成・確保を進めていただきたい。
- ・脳卒中や心筋梗塞などの心疾患について、現在の機能よりもさらに強化するため、HCU（準集中治療室）や早期の回復のためのリハビリ機能を持つなど、センター化を進めていく方向で取り組んでいただきたい。
- ・糖尿病になった方々の重症化の予防や、また、手術後の誤嚥性肺炎の予防や在院日数の減少等のため、口腔衛生管理が非常に重要な役割を担っている。医科歯科連携が重要であり、地域の各歯科診療所との連携を、よりスムーズに行っていただきたい。
- ・身体合併症を有する精神疾患患者の夜間・休日の救急入院等について、こころ

の医療センターと連携し、受入機能を強化していただきたい。

- ・最近、精神症状を発症している子ども達が低学年年齢化している。公立病院として子どもにおける環境整備も考えていただけるとありがたい。

【6事業関係（救急医療、災害医療、へき地医療、周産期医療、小児医療、感染症医療）】

- ・高いレベルの救命救急を行っていただきたい。
- ・山口大学医学部附属病院の新棟建設の経験から、大規模災害時に多くの患者さんを収容できるようなトリアージスペースの整備を検討されたい。
- ・大規模災害時における非常電源の確保等、リスク回避や防災対策も十分に検討されたい。
- ・循環器、脳卒中、呼吸器領域は、へき地医療においても非常にニーズの高い分野である。5G等の新技術の活用は、地域医療の連携強化、そして、地域住民の不安の解消や地域の医療を支えておられる先生方の安心につながる。
- ・5G等はへき地医療の充実だけでなく、中小病院のサポート・後方支援など幅広い活用を期待したい。
- ・現在ある高いレベルの総合周産期母子医療センターの維持を継続的に行っていただきたい。
- ・県内唯一の第1種感染症指定医療機関として、コロナ対応では、他の医療機関では対応が難しい妊婦・小児・重症患者を多く受け入れてもらい感謝している。今後起こり得る新興感染症においても人材供給や育成を含め、けん引役をお願いしたい。
- ・新興感染症への先見性を持ち、専用の陰圧個室やトリアージ・ゾーニング空間を整備することが必要。非常に高度な日常の診療機能と感染症に対応する機能を並列に運用していくことが求められるため、計画段階から準備しておくことが極めて重要。
- ・重症呼吸不全に対応可能な専用ベッドを有する呼吸器センターも新たに設置していただきたい。

【人材確保等】

- ・常に良好な職場環境を維持できる人材の確保と、最新の医療を提供できる医療機器の整備が必要。職場環境・医療環境は職員の確保・定着にも重要。
- ・若手医師の定着のために最先端の手術支援ロボット等の設置は有用。
- ・県や関係機関においては、住民が安心して暮らしていけるよう、医師派遣機能の充実や、県内に医療従事者が残るような体制を整えていっていただきたい。
- ・昨年スタートした専門医療機関連携薬局に必要ながん専門薬剤師の資格取得のための研修を担ってほしい。
- ・総合医療センターと、看護師等を輩出する県立大学、また、看護職の研修を担う看護協会とがしっかり連携して、看護職等の確保・育成に取り組むたい。
- ・新興感染症や大災害等に対応できる人材育成が重要で、限られた人材を研修やタスクシフトを通じて最大限有効に活用する必要がある。
- ・保健所の保健師は、感染症対応のほか医療安全等の指導・助言の役割等を担っているため、より専門的な研修を行うための協力をお願いしたい。

【その他】

- アクセスは今の状況でもそんなに悪くないと思うが、県内どこからでも、短い時間で到達できるような、アクセス性の良さも重要であり、交通網の整備もお願いしたい。
- 安定した経営基盤の構築も大変重要であるため、効率的な病床運用や、地域の病院との連携強化等を扱う部門の機能強化も重要。
- 院内学級があると聞いて安心した。次の世代を担う子供たちを育成するために、院内学級を充実していただきたい。
- ニュースで子供の緩和ケアを行っている施設が紹介されていた。何かできることがあれば取り組んでいただきたい。